

富岡・エコ・広報

(第27号)

発刊日 2019年3月吉日

発行元：富岡地区環境推進員協議会 発行責任者：田中 美光

事務局：富岡まちづくりセンター

<http://www.town-tomioka.click/kankyo/>

「富岡・エコ広報」はインターネットからも閲覧可能です



富岡地区は中富、十四軒、フラワーヒル、神米金、所沢新田、北田、岩岡、三商北中、向陽ハイツ、下富、武野台、ネオポリス、郊外マンション、さつき台、上岩岡、北中、東海、エステシティの18地区で構成されています。

◆視察研修に参加して

富岡地区環境推進員協議会 会長 田中 美光



昨年12月初旬に地区自治連合会の視察研修に参加しました。視察先は福島県いわき市にある「いわき大王製紙(株)」で、多くの皆様もご承知かと思いますが「エリエール」というボックスティッシュを作っている会社です。

古紙を最大限に利用するという新しいコンセプトで1996年(平成8年)に設立され、「大王製紙」の関連会社で古紙のみで新聞の用紙を製造しています。

年間45万トンの古紙をリサイクルし、紙の原料となる木材をパルプに加工する際に発生する二酸化炭素(CO₂)の大幅削減への貢献から国から表彰されています。また、自家発電設備や木材チップ、廃プラスチックを活用したバイオマスボイラーを製紙業界で先がけて導入するなど、地球環境保護や豊かな地球を守り続けるプラントを目指しているということでした。

工場は、新聞用紙ができるまでが全て機械によってコントロールされ環境への配慮が徹底されていました。地域環境の保護・維持等のコンセプトが確実に実行されているからこそ、地域に受け入れられ、地域に密着した工場であり続けられるのではないかと強く感じました。

環境推進員の1人としても大変有意義な視察研修でありました。

●環境講演会に参加して 講演〈武蔵野学がはじまる〉

講師 学習院大学教授 赤坂 憲雄氏

北田自治会環境推進員 新井 春好



今回の環境講演会は、従来開催場所であった施設(ミューズ)が改修工事の関係から所沢まちづくりセンター内の中央公民館ホールで行われました。開催場所が変更になったことから、来場者等で心配もありましたがほぼ満席に近い状況でありました。講師の赤坂氏は東京大学で民俗学、日本文化論を専攻し、地域学から、また、都下の府中市、国分寺市に住まれ実体験からの武蔵野についての説明を頂きました。さらに、所沢周辺地域のことにも触れていただき大変なじみやすい講演でありました。以下が講演内容の概要と私の感想です。

国木田独歩が描いた武蔵野

都市からそう遠くない人間と自然が入り混じる地域、そこには麦や大根の畑、樺やくぬぎなどの雑木林、櫛に囲まれた屋敷林、ところどころにある谷戸の底に広がる水田の田園風景や雑木林の里山の丘陵地が武蔵野の特徴といえるのではないかと説明がありました。

□所沢市と武蔵野

明治31年に国木田独歩が著した随筆の武蔵野の中で「武蔵野の傍(おもかげ)は、今わずかに残れり・・・自分は文政年間にできた地図を見たことがある。その地図に入間郡小手指原は古戦場なりと書かれていた・・・自分は、武蔵野の跡のわずかに残っている処とは、この古戦場あたりではあるまいかと思って・・・」このように記されているという内容が紹介されました。

(私の感想)今、この地は周辺の風景が以前とはだいぶ変わってきてはいますが、古戦場跡地の白旗塚として残されています。

この場所は、今も国木田独歩が言った武蔵野を彷彿させるものがあります。所沢市には他に三富開拓地やトトロの里の狭山丘陵などがありますが、古くから人々がかかわって築いてきたものです。これら先人が脈々と築いてきた貴重な財産を大事にしてさらに後世に引き継いでいくことが必要ではないかという思いが今回の講演会に参加して改めて強く思いました。

◆「西部クリーンセンター」を視察して

東海自治会環境推進員 柴 一輝



普段から日々のゴミ出しについてはリサイクル・分別などを意識することはあっても、出したゴミが収集された後、どのように処理されているのかまで考えることはありません。そんなゴミの諸問題の理解を深めるため、12月14日（金）に西部クリーンセンターの視察に参加させて頂きました。

所沢市のクリーンセンターは東部・西部と2か所あり、規模的には西部クリーンセンターの方が小さいのですが、それでも日々多くのゴミが運ばれてきます。中でも驚かされたのはプラ包装用紙の処分作業です。搬入されたゴミ袋を破袋機に通し広げたあと、手作業による分別を行っていました。プラ包装用紙はリサイクル等への使用があるため、ペットボトルや異物を取り除かなければなりません。その作業は大変な労力ではないでしょうか。また、焼却施設を集中管理する「中央操作室」や、家庭ごみを持ち込める「市民持込みステーション」などを見学し、ゴミ

処理全体の流れを学びました。その後、ゴミ出しに関する質疑応答などがあり、最終処分場の問題や分かりにくい分別の方法など、理解を深めることが出来ました。

今後は私たちの快適な暮らしを行政に任せるだけでなく、自らもその一員である意識を忘れないようにしたいと思います。

●「砂川堀及び神米金新道の清掃活動」に参加して

向陽ハイツ自治会環境推進員 小寺 秀子



富岡地区ウォークラリー大会に初めて参加して砂川堀のローソンの裏を歩いていた時、細い道に雑草が生えてゴミが落ちていて不愉快を感じました。翌年からウォークラリー大会の前に、砂川堀及び神米金新道の清掃が始まりました。

11月11日に食の駅に環境推進員22名、エコネットくぬぎ山の維持管理をしている4名の方の計26名が集まりました。

食の駅から神米金新道の信号までと砂川堀班とに分かれてゴミ拾いをしました。歩道にはタバコの吸い殻。植え込みの中にはペットボトル、空

き缶、板の切れ端など隠すように捨てられていました。

砂川堀には、雑木林がありますが、大型トラックのタイヤも捨ててあり、軽トラック1台分約120kgのゴミが集められました。

車の中から捨てられたりわざわざ運んできたりしたのでしょうか。

車の中に一時保管して決められた場所に処分してほしいと思いました。

3月に富岡地区ウォークラリー大会がありますが、その前にもう一回清掃があります。

気持ちよく参加していただくために頑張ります。

ローソンの駐車場でゴミの分別をしている時に、今まで経験をしたことのない臭いを感じました。食の駅に戻っても臭う。車に乗っても臭っていましたので帰宅して着用している物すべてを洗濯し、靴も洗い3日干しました。車の中に消臭スプレーを撒いて窓を開けて走り出しましたが、3日間くらい臭いは消えませんでした。あの臭いの元は何だったのでしょうか？

◆「くぬぎ山地区保全活動」に参加して

岩岡自治会環境推進員 粕谷 実



9月29日（土）県のかくぬぎ山地区16回保全活動に初参加。前回雪で中止。くぬぎ山は、所沢市、狭山市、三芳町にまたがる平地林。クヌギ、コナラの木など面積は152ha。

作業内容は、外来植物の除去との話。最近家の近くで「アメリカオニアザミ」除去したばかり。外来植物など気になり参加。

小雨降る中、駒ヶ丘原の森に9時30分受付し子供、一般の方、推進員とともに藤本所沢市長も参加。富岡環境推進員4名。行政17名の計75名参加。

10 時より作業内容説明。選定鋏を借り、所沢市の（くぬぎ山駒ヶ丘原）。狭山市の(上赤坂自然再生地)の2カ所に分かれ少し離れた場所の狭山市の自然再生地に約30名位で移動。隣には置き場のような建物があり、大きな木は無いが一面ツル草に覆われた場所。セイタカアワダチソウ、ヤブガラシ、クズ、キクイモなど手でツルなどを除去。切れないところは鋏で大変でした。小雨降る中頑張って作業しているとアカマツ幼木が、陽が差し込むようになり元気で育つでしょう。11時50分終了。雨の中皆さんご苦労さまでした。

●「航空公園清掃」に参加して



北中自治会環境推進員 市島 美津子

所沢市として、毎年フェスティバルの一週間前に航空公園外周の清掃を市内全自治会の環境推進員が一同に会して作業をします。

市長、議員のあいさつに始まり、職員の説明で各持ち場に向かいます。10月ともなれば落葉の季節。そのうえ風でも吹こうものなら掃いても集めてもまとまらない！！。

こんな時には人手が必要ですね。今回、我が自治会では若いお母さんが小学生の子供さん3人と一緒に参加して下さいました。

朝8時の集合時間にも関わらず楽しそうで、後日近くを通った時に「この前皆で掃除したんだよね」と話していたようです。

思うに、子供のころから地域のいろいろな行事や遊びに参加することで「郷土愛」が生まれるのではないかと！。近年、外で遊ぶ子、仲間と遊ぶ子を見かけることが少ないように思います。地域からの呼びかけ、日頃の挨拶、近所との交流などが相まって心豊かな大人に！！また、その拡大で安心できる社会構築につながっていくのでは！！と考えます。

◆「これからのところざわ」

富岡地区環境推進員協議会 会長 田中 美光

今回は、「所沢の新電力事業」について紹介します。

市では、マチごとエコタウン所沢構想に基づきメガソーラー所沢やフロートソーラー所沢の設置運営による再生可能エネルギーの創出などさまざまな取り組みを通じて持続可能なまちづくりを進めています。

再生可能エネルギー（一例）



昨年5月に埼玉県内2事例目となる地域新電力会社「株式会社ところざわ未来電力」を設立し、市内公共施設や民間事業者を対象に電力供給を始めました。

以下が会社の概要です。

- 会社名 「株式会社ところざわ未来電力」
- 所在地 所沢市宮本町2丁目21番4号（上下水道庁舎内）
- 資本金 1,000万円
- 出資者 所沢市、JFEエンジニアリング、飯能信用金庫、所沢商工会議所
- 設立日 平成30年5月28日

●「10月14日 もったいない市」に参加して

三商北中自治会環境推進員 富田 隆司

2008年秋、エステシティと中富自治会の共催により中富南コミュニティセンターにて発足したとされる「もったいない市」。以降年間2回の開催を重ね、10年目を迎えた今年開催場所を富岡まちづくりセンターへ変更、今回で2度目の開催となります。

初めて体験する「もったいない市」、展示会場はどのような状況なのか、来場されている方はどれ程いらっしゃるのか。想像を巡らしながら午後の担当時間前に入館。

まず目に入ったのがハンガーラックに吊るされた各種衣類がズラリ、また展示スペース一杯に広がる陶器・食器・グラス・インテリア小物類等の豊富さには驚かされます。

午後の閉店間際まで献品に来館される方、又はご購入される方が絶えぬ盛況ぶりでした。

私自身、品物の仕分け、展示作業の間隙をぬいつつ展示物を物色？し、数点の掘り出し物を購入致しました。一度ご来場頂ければ何か掘り出し物が... 次回は是非ご来場下さい。最後に、会場設営、展示に携わって頂いたスタッフの皆様方 本当にお疲れ様でした。

◆「緑の森博物館」

さつき台自治会環境推進員 新井 幸江



緑の森博物館は里山をテーマにしたフィールドミュージアムでここには雑木林や湿地、田んぼなどかつての武蔵野の風景が広がっています。冬の為植物や昆虫、野鳥など体感ではできませんでしたが春は最高だと思います。イベントもたくさんあり親子初めての自然観察会、下草刈りと草木染体験、落ち葉かきと焼き芋作り、土日みどりの森大人のスローキャンプまであります。

そして泊まりではありませんがわくわく子供里山キャンプもあり、十分楽しめる里山です。やはり何と言っても湿地に貯められた広大なため池など子供さんが自然を体験できる絶好の場所だと思います。近場で広過ぎずちょうど回れるには適度な広さだと思います。是非お子様がいらっしゃる方には一度行かれたらと思います。

●「ごみ雑話」

富岡地域づくり協議会 鹿島 輝雄

【循環型社会の形成を推進するための法体系】

環境基本法



循環型社会形成推進基本法

資源有効利用促進法

廃棄物処理法

(リサイクルの推進)

(廃棄物の適正処理)

【個別物品の特性に応じた規制】

◎	◎	◎	◎	◎	◎
小	自	建	食	家	容
型	動	設	品	電	器
家	車	リ	リ	リ	包
電	リ	サ	サ	サ	装
リ	サ	イ	イ	イ	リ
サ	イ	ク	ク	ク	サ
イ	ク	ル	ル	ル	イ
ク	ル	法	法	法	ク
ル	法				ル
法					法

循環型社会の形成を推進するための法体系は左記となっています。

我々の生活に身近なリサイクルの法律である「容器包装リサイクル法（容リ法）」は家庭に分別排出を、市区町村（自治体）に分別収集、事業者（容器包装材の製造者と利用者）に費用負担（拠出金）の形でリサイクルを義務付けています。新聞、アルミ缶、ダンボールなど資源回収品として有価取引の物は分別収集の対象外です。

法の目的は全ての人々が協力してリサイクルを促進、資源の有効利用を図ることです。しかし、容リ法の実施は家庭での排出、市区町村へ分別収集の義務に罰則がなく、費用負担が大きいとの理由で、分別収集を実施しない市区町村も有り全国一律ではありません。

所沢市は法に従い、ペットボトル、容器包装プラスチックを分別回収しています。容器包装プラスチックは選別して梱包品（バール）として業者に引渡しリサイクルの一翼を担っています。

先日、所沢市施設の見学会があり、中身の残ったマヨネーズやケチャップ容器の処分はどの様に？との質問がありました。選択肢は①水で洗ってリサイクル、②破砕ゴミとして処分する。皆さんはどの様にしていますか。水を作るにも汚水の処理をするにもエネルギーを使うので、“水で洗ってリサイクル”は必ずしも環境に優しいとは言い切れない側面があります。

【環境推進員の紹介】

新任の環境推進員（広報員）の方より「ひと言」頂きました。

●エスティティ自治会環境推進員 蒲原 隆一

4月、環境推進員になりました。何をやるのだろうと、とまどいもありましたが、理事会や環境推進活動に参加してみても、少しはお手伝いできそうだと思います。地域の良好な環境維持に向けて、いろんな活動に参加したいと思います。

●三商北中自治会環境推進員 富田 隆司

ボランティア活動、ゴミ処理施設見学や その他イベントの体験を通じ、自分自身 環境に対する意識が少し塗り変わった様な気がします。環境推進員を1年間 務められた事に感謝です。

●東海自治会環境推進員 柴 一輝

所沢市に引っ越して間もなく、環境推進員の役員を受けることになり不安しかありませんでした。しかし、色々と参加させて頂く中で環境に対する取り組みを学ぶことが出来ました。これからもよろしくお願ひします。

●さつき台自治会環境推進員 新井 幸江

環境役員は初めてだったので不安でしたが、研修旅行など環境に興味を持つよう配慮され受けもってよかったと思っています。